



一学期を振り返って

教頭 横谷 鉄平

今学期は、4月の分散登校、5月の臨時休業、6月の分散登校と、保護者の皆様にはご理解、ご協力をいただきました、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもたちには、「学校があったりなかったり、今度はいつ登校するのか…」不安な思いをさせてしまったり、混乱させてしまったのではないかと心配しています。保護者の皆様には、日々の生活の中で、ご家族の仕事や兄弟の学校のスケジュールなど、本校以外のことでも見通しが持てないことも多かったと思います。また、思うように外出できないことなどもストレスとなったのではないのでしょうか。

私自身、自分が子どもの頃から考えても、経験したことのない状況であり、来週はどうなるのか、これは取り組んでいいのかと、見通しの持てない日々を過ごしておりました。一斉メールや通知などを出しましたが、対応が十分でない面もあったかと思えます。それでも、「学校も大変ですよ…」など、温かいお言葉をかけていただき、重ね重ね感謝しております。

「8月の夏休みを過ぎれば、すべて元通りになる」などと、楽観的なことは言えない状況ですが、2学期以降も引き続き、子どもたちの笑顔が見られるよう努力していきたいと思えます。

小学部 各学部より 高等部

6月22日から通常登校が始まり、小学部2年生のみんなも学校での生活リズムを思い出しながら活動しています。新しいクラスメイトや先生とのやりとりにも楽しげな笑い声が混じってきて、お互いの緊張感も少しずつ和らいできているようです。分散登校が始まった6月から、7月までの授業の様子をほんの一部ですが、ご紹介いたします。

生活単元学習での制作活動では、折り紙をちぎったり切ったりして、紙吹雪で遊んだり、貼り絵をしたりしました。また音楽活動では、“あたまかたひざポン”のリズムに合わせて身体を動かす活動や曲の歌詞を聞いてアンパンマンの顔を組み立てる活動等を行っています。軽やかな音楽にのって、みんなの顔はとても晴れやかです♪



今年度の高等部は、1年生19名、2年生28名、3年生28名、総勢75名でスタートしました。

6月からの分散登校が明け、6月22日から通常日課による学校生活が始まり、1ヶ月以上が経ちました。生徒達が日々の学校生活を、元気に楽しく過ごしている姿がとても印象的でした。

令和2年度がスタートし、1年生におきましては、自立活動や生活単元学習など高等部の日課に慣れ、7月からは、作業学習が始まりました。

2年生におきましては、1年生の作業見学の際、2、3年生と一緒に旧作業班で作業学習に取り組み、見本を示すことができました。

3年生におきましては、7月から現場実習がスタートしました。一人一人の生徒が目標を立て、卒業後の進路の実現に向けて、頑張っています。

今学期も保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。

2学期以降も、引き続きよろしく願いいたします。

【お知らせ】

- ・今学期は分散登校を伴う学校再開であったため、今年度の通知表（支援プラン評価）は12月と3月の2回となります。
- ・8月11日(火)～14日(金)は、学校閉庁日となります。学校には職員が不在となります。緊急時の連絡は、下記アドレスまでお願いします。

wakui.tsuyoshia3@spec.ed.jp 涌井教頭

yokotani.tetsupei.01@spec.ed.jp 横谷教頭

- ・今年度の久喜市民祭りの開催は中止となりました。それに伴い、高等部の生徒による市民祭りでの作業製品の販売は今年度行いませんので、よろしくお願いいたします。